

TOPICS

1市6町の財政状況は？(主な財政指標で見てみましょう)



■表の見方

市町名	①財政規模	(億円)
	②財政力指数	
	③経常収支比率	(%)
	④実質公債費比率	(%)
	↓住民1人当たりの額	
	⑤市町税	(円)
	⑥地方交付税	(円)
	⑦歳入計	(円)
	⑧歳出計	(円)
	⑨地方債現在高	(円)
	⑩積立金現在高	(円)

- ①財政規模の金額は、平成18年度決算額の歳出額を計上しています。
- ②財政力指数と④実質公債費比率は、平成16～18年度の平均値です。
- ③経常収支比率は、平成18年度決算額で算出しています。
- ⑤～⑩の住民1人当たりの金額は、平成18年度決算額を平成17年10月1日実施の国勢調査人口で割ったものです。
- ⑥地方交付税は、普通交付税と特別交付税の合計額です。
- ⑨地方債現在高は、地方債の普通会計負担分の金額です。
- ⑩積立金現在高には、財政調整基金、減債基金、その他特別な目的のために積み立てている基金が含まれています。

※財政指標用語については、次ページを参照してください。

木之本町	① 54
②	0.34
③	93.4
④	17.4
⑤	95,999
⑥	208,183
⑦	679,435
⑧	632,657
⑨	712,122
⑩	288,469

高月町	① 45
②	0.85
③	76.5
④	13.2
⑤	250,376
⑥	59,645
⑦	450,670
⑧	434,901
⑨	566,065
⑩	85,766

湖北町	① 43
②	0.46
③	86.6
④	17.8
⑤	111,987
⑥	128,410
⑦	509,395
⑧	486,712
⑨	549,947
⑩	97,321

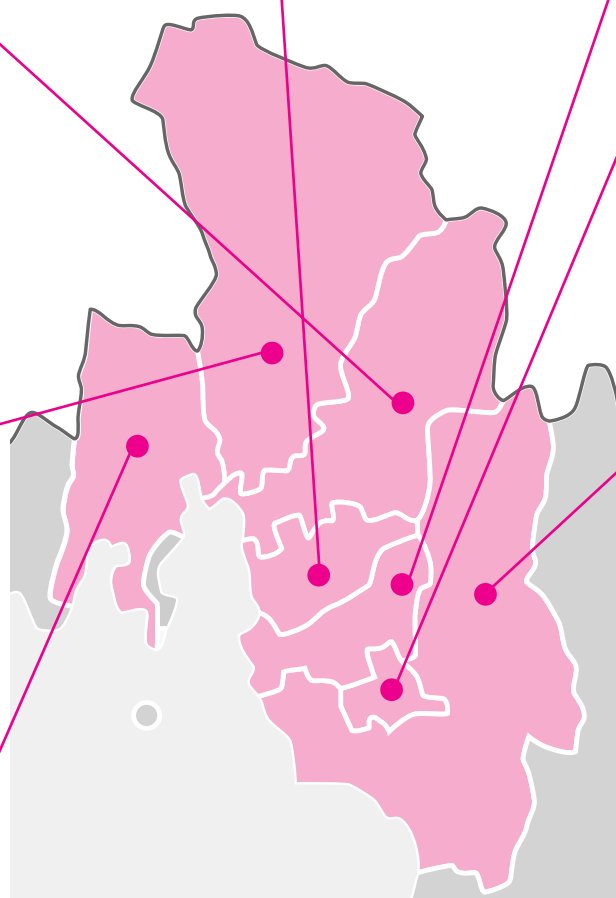
虎姫町	① 29
②	0.35
③	99.2
④	17.4
⑤	103,408
⑥	234,279
⑦	534,379
⑧	527,079
⑨	731,977
⑩	248,410

余呉町	① 29
②	0.20
③	97.0
④	20.4
⑤	76,698
⑥	377,851
⑦	756,120
⑧	732,993
⑨	886,528
⑩	227,998

長浜市	① 344
②	0.59
③	90.6
④	15.6
⑤	131,424
⑥	90,936
⑦	425,007
⑧	416,119
⑨	435,248
⑩	110,821

西浅井町	① 24
②	0.28
③	92.9
④	21.9
⑤	97,293
⑥	271,779
⑦	537,535
⑧	523,339
⑨	740,290
⑩	270,969

1市6町計	① 568
②	0.52
③	90.0
④	—
⑤	138,595
⑥	121,272
⑦	486,266
⑧	456,502
⑨	512,054
⑩	135,762



TOPICS

シリーズ「道州制と1市6町合併」

前回までは、「なぜ今、合併なのか？」道州制や今後の環境の変化を見据えた合併の必要性と、市長と語る市民懇談会でみなさんからいただいた、ご意見の概要をお知らせしてきました。

今回からは、懇談会の中で寄せられたご意見に対し、現在お答えできる範囲の内容について、順次説明していきたいと思っています。

そこで今回は、1市6町の現況と財政状況についてお知らせします。まずは、環境(人口減少・財政状況)の変化について、もう一度説明させていただきます。

人口減少・少子高齢化の進展

日本の人口は平成19年をピークとして年々減少を続け、平成26年には、総人口に対する老年人口の比率が25%を超え、平成45年には30%といった超高齢化社会に突入すると言われてい

ます。この人口予測から言えるのは、福祉等における行政需要が拡大する一方で、税収等の減少が見込まれるので、今までのような行政手法では無理が生じてくるということです。

1市6町の老年人口比率(※下図参照は、平成42年において、25.6%と予測されています。

財政状況の変化

市の財政状況は、先月号でお知らせしたとおり年々厳しくなっています。毎年必要な経費の支出割合を示す経常収支比率※11ページ参照は90%を超え、今後は、老年人口の増加で、義務的経費である扶助費が増加することが見込まれ、当市の財政状況はますます厳しい状況が続くものと思われ

ます。また、国の三位一体の改革や県の財政危機回避のためのプログラムを受け、国庫・県支出金や地方交付金も年々減少することが見込まれています。

なぜ合併なのか

今回の市町合併は、このような人口減少、少子高齢化、地方分権による財政状況の変化が急速に進む中で、住民のみなさんがこれからも充実した福祉や教育などの行政サービスを受けられるように、市町の基礎体力を高めようとするものです。

■図 1市6町の現況(人口推移)

		長浜市	虎姫町	湖北町	高月町	木之本町	余呉町	西浅井町	1市6町計
平成7年	総人口 (人)	77,339	6,007	9,023	10,976	9,628	4,417	5,025	122,415
	総人口 (人)	82,676	5,582	8,926	10,242	8,519	3,931	4,622	124,498
	老年人口 (人)	16,495	1,313	1,995	2,146	2,362	1,221	1,297	26,829
	老年人口比率 (%)	20.0	23.5	22.4	21.0	27.7	31.1	28.1	21.6
平成17年	老年人口比率 (%)	0.31	0.38	0.36	0.33	0.47	0.56	0.48	0.34
	老年人口指数	0.31	0.38	0.36	0.33	0.47	0.56	0.48	0.34
	総人口 (人)	92,815	4,962	7,267	8,359	6,663	2,909	3,769	126,744
	老年人口 (人)	21,246	1,541	2,332	2,650	2,251	1,100	1,295	32,415
平成42年	老年人口比率 (%)	22.9	31.1	32.1	31.7	33.8	37.8	34.4	25.6
	老年人口指数	0.36	0.54	0.56	0.56	0.62	0.75	0.64	0.42
	総人口 (人)	92,815	4,962	7,267	8,359	6,663	2,909	3,769	126,744
	老年人口 (人)	21,246	1,541	2,332	2,650	2,251	1,100	1,295	32,415
人口増加率	平成7→17年 (%)	6.9	△7.1	△1.1	△6.7	△11.5	△11.0	△8.0	1.7
	平成17→42年 (%)	12.3	△11.1	△18.6	△18.4	△21.8	△26.0	△18.5	1.8
老年人口増加率 (%)		28.8	17.4	16.9	23.5	△4.7	△10.0	△0.2	20.8

- *平成7年・平成17年は、国勢調査による数値
- *平成42年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来人口(平成15年推計)」による数値
- *老年人口増加率は、平成17年と平成42年を比較した数値

- ※生産年齢人口・・・15～64歳の人口
- 老年人口・・・65歳以上の人口
- 老年人口比率・・・老年人口÷総人口
- 老年人口指数・・・老年人口÷生産年齢人口

平成17年から平成42年の老年人口増加率は、1市6町計で見ると20.8%で、およそ5,600人増加する見込みです。また、平成42年の老年人口指数は0.42になり、平成17年には3人弱で65歳以上の方1人を支えていたものが、2人強で1人を支えていくことになります。その分、福祉等にかかる社会的負担が増えることになり、財政状況はますます厳しくなることが予測できます。